令和7年度事業計画

長野県は、地形が急峻かつ地質が脆弱であることに加え、近年の気候変動の影響により、各地で線状降水帯が発生して長時間にわたり集中豪雨をもたらすことなどで、毎年のように甚大な山地災害や林道災害が発生している。

また、昨年は元旦の能登半島地震や各地の豪雨により大きな山地災害が発生するとともに、切迫する南海トラフ地震による津波の危険度も高まり、大規模災害の発生リスクはこれまでになく高くなっている。

さらに、国民病とも言われるスギ花粉症への対策として、スギ林の適正な整備のための林道整備も重要となる。

このような状況を踏まえ、国民の安全で安心な暮らしを実現するため、災害復旧対策はもとより、事前防災・減災を目的とした災害に強い森林づくりによる緑の国土強靱化を一層強力に推進していく必要がある。

一方、建設業界は、資材価格の高騰や人件費の上昇に加え「グリーン投資」や「IT投資」等の設備投資も必要となり、健全な企業経営に重くのしかかっている。

このように、取り巻く諸情勢は大変厳しい状況にあるが、これらの課題を解決するためには、工事の品質を確保するために必要となる予算の確保と適正な利潤の確保が必要不可欠となる。

これらのことを踏まえ、長野林業土木協会では、昨年に引続き林野公共事業の推進を通じて会員の使命でもある「国民の安全・安心の確保」に貢献するとともに、会員企業の適正な利潤の確保に向けた活動をさらに進めること等を主体として以下の事項について重点的に取り組む考えである。

- 1 林野公共工事の実施により国民の安全・安心の確保等に貢献
- 2 林野公共事業予算の拡充・確保
- 3 災害被災地の早期復旧・復興に貢献
- 4 デジタル技術を活用した生産性の向上と業務の効率化の促進
- 5 利用期を迎えたスギ材等の利用促進に向けた林道整備に貢献
- 6 「適正な利潤の確保」への取組と「働き方改革」等の推進
- 7 労働災害の未然防止、特に重大災害発生ゼロへの取組
- 8 コンプライアンス活動への積極的な取組
- 9 優良工事の現場責任者等の表彰
- 10 会員相互の連携と交流